



1 モンゴル米山学友会 創立 10 周年記念式典開催

7月20日、モンゴル米山学友会の創立10周年記念式典がウランバートルホテルにて開催されました。会場には、モンゴル出身の米山学友のみならず、韓国米山学友会



会長の朴在泳さん(1995-97/仙台泉RC)など、海外からも米山学友が出席。日本からは、当会の小沢一彦名誉理事長、若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、相澤光春副理事長、田中久夫常務理事をはじめ、数十人のロータリー会員が出席しました。来賓としてモンゴル国文部大臣、日本国の井川原 賢駐モンゴル特命全権大使が出席されるなど、会場には総勢140人が集まりました。

当日の式典では、2022年から同学友会会長を務めたセデバザル ウドワルさん(2010-12/下野上三川RC)が退任し、新たにバンバット



2 2025 学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で586キャンパス(前年度563キャンパス)。指定校からの被推薦者数は1,909人(同1,789人)で、この中から新規奨学生約700人が選ばれます。今回、初指定校は15校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区

トゥメンデルゲルさん(2014-15/大阪東RC)が7代目の会長に選任され、その就任式が執り行われました。続く分科会では、3つに分かれ米

山学友や日本のロータリー会員が卓話を披露。その後、最後のプログラムとして、華やかな祝賀会で締めくくりとなりました。



翌日は参加希望者に向けた遊牧民・大草原体験プログラムが開催され、テレルジ国立公園内での乗馬体験や、民族コンサート鑑賞などが開催され、モンゴルの文化を体験しました。

これまでに日本の数多くのクラブと協力し、モンゴル図書館プロジェクトによる図書室設立や、医療機関への寄付・医療機器寄贈など、多数の奉仕活動を行っている同学友会の今後のさらなる活躍に注目です。

奨励奨学金は、13地区(同14地区)38校(同39校)となりました。当会からは8月6日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

3 寄付金速報 — 2024-25年度の始まりは? —

前年同期比

- 31.4%

普 - 2.9% 特 - 58.9%

2024 - 25年度の最初の月となる7月末までの寄付金は約2億1,300万円でした。前年同期と比べて約31.4%減（普通寄付金:2.9%減、特別寄付

金:58.9%減）、約9,700万円の減額となりました。1億円近くの減額となったのは、前年度の初めに同額の高額寄付をいただいたことが影響しています。

ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 ベトナム南米山学友会 第1期総会開催

7月28日、ベトナム南米山学友会の第1期総会がハイブリッド開催されました。当会の駒井英基常務理事が参加したほか、日本からも6人のロータリー会員が出席。また、ベトナム出身の米山学友約20人に加え、タイ米山学友会会長のペチニン ナレスさん（1994-96/越谷RC）、韓国米山学友会会長の朴在泳さん^{パクジェウヨン}、第2580地区米山学友会会長の楊子明さん^{ヨウソンメイ}（2002-03/東京新橋RC）らの学友が参加しました。

総会では、ホーライフーン会長（1973-75/桐生西RC）の挨拶に続き、会計・活動報告が

行われました。同学友会では日本の多くのクラブと協働し、奉仕・交流活動を行っており、児童養護施設への物資寄贈など、さまざまな奉仕活動が報告されました。また、2016年から行っているホーチミン市工科大学の学生への奨学金プロジェクトの支給対象者数は累計23人となり、この総会にも5人の奨学生が参加しました。

総会はすべて日本語で進行され、参加者には日頃からの支援への感謝が述べられ、心温まる総会となりました。

5 「再会 in 関東」実行委員会 寄付&復興ボランティア

昨年8月に茨城県つくば市で開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」実行委員会が、米山梅吉記念館への寄付、そして、能登半島地震で被災した学校へのスポーツ用具寄贈を行いました。

6月9日、第2590地区米山奨学委員会主催の新規米山奨学生の米山梅吉記念館訪問にあわせて、「再会 in 関東」実行委員会メンバーの朴貞子^{パクサダコ}さん（2006-08/岸和田RC）、何玉翠^{ホユーツイ}さん（1987-89/奈良RC）、崔玉芬^{サイギョクフン}さん（2007-08/大洗RC）の3人で記念館を訪問。「再会 in 関東」実行委員会から記念館へ寄付金を贈呈しました。



贈呈式を行った朴さん(中央)、何さん(右から2人目)と崔さん(右)



スポーツ用具を寄贈した朴さんと陳さん(中央左)

そして7月12日、朴さんは第5代よねやま親善大使の陳瑤^{チンヨウ}さん（2012-14/四日市東RC）とともに石川県七尾市を訪問。七尾RCの例会に出席した後、甚大な被害を受けた七尾市内の鵬^{おおとりがくえん}学園高等学校を訪れ、スポーツ用具（バレーボールネット、バドミントンラケット等）の寄贈を行いました。13日は同市で復旧支援ボランティアとして、がれきの撤去・運搬作業に参加。自らの目で七尾市の現状を見た朴さんは「実際に作業をしてみると、まだ復興への道のりは非常に遠いと痛感させられました」と、述べました。